

泉佐野
発

日本一の「まちづくり」

自由民主党 泉佐野市会議員団

千代松 大耕

ちよまつ ひろやす



市政報告 環境から考える泉佐野

ゴミ袋有料化のその後

平成18年の4月に泉佐野市の家庭ゴミ指定袋が有料化されてから、おおよそ4年間が経過しました。ゴミ袋の有料化については、4年前の市議会議員選挙、そして選挙直後の住民投票の直接請求（住民投票の実施は議会会で否決）など、泉佐野市政の中で大きな争点となりました。

当初は50円50円、20円20円の2種類のゴミ袋でしたが、「高齢の一人暮らしでは袋が大きすぎる。」などの要望がありましたので平成19年11月より10円10円の袋も作製するようになりました。有料化スタート時点におきましては近隣の自治体では、貝塚市で一枚9円といった製作原価なみの袋の有料化、そして岸和田市で定量を超えた分については有料といったように、本格的なゴミ袋の有料化が実施されていなかったため、「泉佐野市だけ何で、こんなに高くゴミ袋を有料化するんや。」などの反対意見が多くありました。しかしながら

泉佐野市	50円袋 50円	20円袋 20円	10円袋 10円	H18年4月よりスタート (10円袋はH19年11月より)
岸和田市	45円袋 45円	20円袋 20円	10円袋 10円	H22年4月よりスタート
貝塚市	45円袋 9円	30円袋 9円		
泉南市	45円袋 45円	30円袋 30円	20円袋 20円	H20年4月よりスタート
阪南市	45円袋 45円	30円袋 30円	15円袋 15円	H20年4月よりスタート
熊取町	45円袋 20円	20円袋 10円		H20年4月よりスタート
田尻町	50円袋 50円	20円袋 20円	10円袋 10円	H22年2月よりスタート
岬町	ゴミ袋有料化の条例はあるが実施は未定			

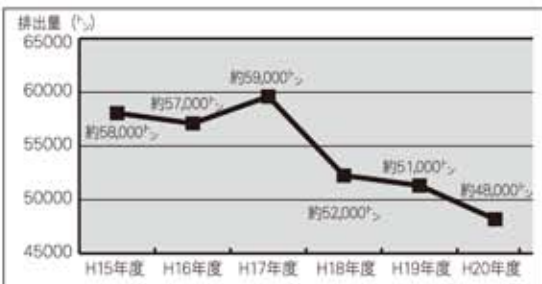
(表1) 近隣自治体のゴミ袋有料化の状況

におきまして有料化反対の候補が選挙で当選されましたので有料化の条例はあるものの、実施の目途はたっていないといった現在の状況です。

この当時に各近隣自治体ではすでにゴミ袋の有料化の検討を始めていました。その後、平成20年の4月より泉南市、阪南市、熊取町がゴミ袋の有料化をスタートしました。また今年の2月1日からは田尻町が泉佐野市と同じスタイルで、そして岸和田市では市長選挙の争点ともなりました。ゴミ袋の有料化を4月1日からスタートいたしました。（表1参照）有料化を実施する予定であった岬町では昨年の町長選挙

有料化後にゴミの排出量がどのようになったと言いますと、有料化実施前の平成15年度では排出量が約5万8,000トンありましたが有料化の実施をした平成18年度では約5万2,000トン、そして平成20年度では約4万8,000トンと、ゴミの減量に対して大きな効果が出ています。（表2参照）また「ひとりあたり家庭系ごみ排出量」では平成15年度で1日一人当たり831グラムと府下で8番目に多かったのが、現在では1日一人当たり524グラムとなり、府下で最低となっています。つまり泉佐野市は市民が1日あたり出すゴミの量が大阪府の中で最も少ない自治体となっております。

この減量効果につきましては、もちろんゴミ袋の有料化によるものが大きいわけですが、それ以外にも有料化の実施と同時に町会や自治会でリサイクル資源の集団回収を支援する制度をスタートするなどの取り組みを始めたために、リサイクルに対するの市民意識が高まったことや、また廃プラの収集、リサイクルを実施してきたことも要因になっていると考えます。その他にもゴミの減量によって焼却場の焼却炉に対する負担が軽減されてきており、財政難の中、焼却場の建て替えの方向性がなかなか打ち出せない泉佐野市にとって財政的にも大きな効果が生み出されています。



(表2) 泉佐野市のゴミ排出量の推移

泉佐野市がスタートした時点では、近隣の自治体は未実施でしたが、すでに関東の自治体や近畿の他の県では有料化をスタートしてゴミの減量化に取り組んでいました。一早く泉佐野市がスタートしたということが一人当たりのゴミ排出量府下最低という結果につながっているものと考えます。

ゴミの減量化に関しましては、排出量の減などから一定の効果が出ています。しかしながら今後の課題といたしましては、大きく3つのことがあげられます。一つはゴミの不法投棄やポイ捨ての問題です。泉佐野市では平成18年4月より、空き缶、タバコの吸い殻ポイ捨て、犬のフン等の放置の禁止を加えた「泉佐野市環境美化推進条例」を施行しています。しかしながらそれ以降におきましても、不法投棄、ポイ捨て等がなかなか減っていないのが現状であります。私自身も青年会議所における「護美運動」、青少年指導員会における「環境浄化活動」そして地元町会の「清掃活動」などに参加していますが、まだまだタバコの吸い殻やゴミの不法投棄が後を絶たず、泉佐野市が美しいまちであるとは言えません。この条例では、禁止事項は明記していませんが、きちんとした罰則規定がありません。今後は罰則規定を明記して実効性のある条例としていかなければならないと考えます。

次に焼却場の問題があります。田尻町にある泉佐野市田尻町清掃施設組合の第2事業所である焼却場におきまして泉佐野市のゴミを焼却しているのですが、ここの焼却場はすでに建設後25年が経過しています。平成13年、14年の2力年をかけてダイオキシン対策工事をおこないました。が、やはり建替を進めていかなければなりません。平成17年3月に策定されました泉佐野市ごみ処理基本計

画では平成22年度より建替工事を着工する予定でしたが、新田谷市長は昨年の組合議会の答弁におきまして「焼却場を何とか建設から40年間、あと15年はもたせようなかたちでいきたい。」と平成22年度着工を断念してあります。15年問題を先送りしたようなかたちではあります。計画立案、環境アセスメント、建替工事の年数を考えますと、ここ5年以内には一定の方向性を打ち出さなければなりません。建替計画の当初から予定されていたりくうタウン内で進めるのか、また違ったかたちで建替えるのか、それともさらなる広域行政を検討するのか、早い段階での決断が必要となってくる問題です。

最後にゴミ問題や環境問題を考える上では、泉佐野市行政だけでは到底全てにおいて対処できるわけではありません。各種団体や各機関との連携、そして市民の方々と泉佐野市内の事業所のご理解とご協力が必要であります。しかしながら泉佐野市では環境美化やゴミ問題への取り組みを進めていく上での総括的な泉佐野市環境美化推進委員会が休止されてきました。私がこの点につきまして12月議会の代表質問で指摘したところ、本年の1月29日(金)より委員会が再開されることになりました。今後はこういった場で泉佐野市のゴミ問題、そして環境問題に対してどのように各種団体、市民の方々と連携を深めていくか、ご協力をいただいていくかの議論を深めていくことが大事であります。

今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政勉強会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々のテーマをお話します。後半は市民の方々の意見交換やご質問にお答えいたします。どなたの参加もOKです。お待ちしております！

第62回「かけはし」…	2月25日(木)
第63回「かけはし」…	3月25日(木)
第64回「かけはし」…	4月22日(木)

*3月の「かけはし」は中会議室でおこないます。

- 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
- 時間 19:30~20:30
- 参加費 **無料**

携帯用メールマガジンを開設しています！



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左のバーコードを携帯電話で読み取るか、<http://mini.mag2.com/> または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

千代松大耕 プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選

- (議会)
- 2003.5 市町村合併検討委員長
 - 2004.5 第61代副議長
 - 2005.5 厚生文教委員長
 - 2006.5 監査委員
 - 2007.5 行財政委員長
 - 2008.5 第65代議長
 - 2009.5 議会運営副委員長

- (現在)
- (社) 泉佐野青年会議所 特別顧問
 - 泉佐野市バレーボール連盟 会長
 - 泉佐野市柔道連盟 理事
 - 泉佐野市青少年指導員
 - 泉佐野市交通指導員
 - 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
 - 泉佐野市青空市場活協同組合 顧問

- (社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
- 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
- 同志社大学校友会泉州クラブ副代表
- 佐野中柔道部OB会 相談役
- 日本教育再生機構大阪 泉佐野支部長
- 看護を考える地方議員の会 副幹事長
- 自由民主党泉佐野支部 政務調査会長
- 自由民主党大阪第19選挙区支部 青年部長

千代松大耕ブログ「Izumisano未来日誌」を開設いたしました！

Izumisano未来日誌

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています！

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
登録ページアドレス：<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

千代松大耕

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

連絡先：泉佐野市松原2-5-31 TEL 458-1708 FAX 469-0311
ホームページ：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
メール：chiyoma51@hotmail.com
発行部数累計 633,500部 第63号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。